

佐原第三中学校

(報告者及び宛名等は省略)

佐原第三中学校統合に係る要望書

平成26年 4月22日

これまで、竟成小学区、福田小学区、神南小学区において、香取市学校等適正配置計画実施プランに基づく学校再編について、学区ごとに地域検討会議を設置し、小学校の再編の検討を行った。その中で、小規模化が進行する佐原第三中学校に対する不安の声が共通してあった。

このため、佐原第三中学校の小規模化の課題について、佐原第三中学区の小中学校のPTA役員で構成する「佐原第三中学校再編PTA懇談会」を設置し、保護者アンケートや保護者説明会を実施し、意見集約を行ってきた。その結果、下記のとおり要望する。

記

1. 要望

佐原第三中学校を佐原中学校へ統合することを要望する。また、速やかな統合実施を望む。なお、栗源中学校への通学希望者には、配慮されたい。

統合にあたっては、遠距離通学者へのスクールバスの運行や、統合後の生徒のメンタルケアの実施を望む。また、統合時の受験生への影響など、その他統合に向け心配される課題の解決に教育委員会は、努めることを要望する。

2. 懇談会の経過

期 日	会 議 名	内 容 等
平成25年 7月17日	佐原第三中学校保護者説明会	PTA 集会で説明
平成25年10月 4日	第1回再編PTA懇談会	少子化の状況、学校再編のこれまでの結果、佐原第三中学校の再編統合について
平成25年11月12日	第2回再編PTA懇談会	アンケートの実施について
平成25年11月30日	神南小学校保護者説明会	PTA 集会で説明
平成25年12月13日	福田小学校保護者説明会	PTA 集会で説明
平成25年12月18日	竟成小学校保護者説明会	PTA 集会で説明
平成26年 1月20日 ～2月4日	保護者アンケート実施	統合について、佐原第三中学区の小中学校の保護者を対象に実施
平成26年 3月 4日	第3回再編PTA懇談会	アンケート結果、意見集約について

3. 懇談会の概要

教育委員会の説明では、香取市の少子化は今後も進み15歳未満は、平成42年には、平成22年に比較して約半分の5,100人に減少すると推計されている。佐原第三中学校の生徒数も減少を続け、現在の80人から平成37年度には67人まで減少する見込みで、1学年1学級が今後も常態化する。また、小規模化のため、単学級でクラス替えができないことや、教科ごとの教員の十分な配置ができない、部活動の種類が少なく選択肢が少ない等、小規模化の改善は喫緊の課題である。

小規模校でも生徒一人一人に教員の目が届きやすく、学習面の定着度が高いなど、メリットもあるが、規模が小さくなりすぎると、デメリットのほうが深刻である。

保護者へ実施したアンケート調査結果では、統合に賛成が73%を占め、0歳から小学校入学前の子どもがいる保護者では賛成が78%と、小さな子どもがいる保護者ほど、賛成の割合が高くなっている。

佐原第三中学校の統合先としては、統合に賛成とした保護者の中で、佐原中学校と回答した保護者が最も多く71%を占めている。栗源中学校との回答も21%あり、今後、これらへの配慮も必要である。

統合時期については、「なるべく早く」が最も多く65%を占め「3～4年先」が20%と早く統合を望む保護者が多い。

また意見としては、統合後のスクールバスの運行に係る心配事や、保護者の負担軽減の要望、早い時期の統合を望む等の声が寄せられた。

学校は、子どもの学び舎であるとともに、地域に根差したコミュニティの拠点でもあるが、子どもたちの教育環境を最優先に考えることが重要である。

中学校の三年間は、子どもから大人への過渡期に当たり、多くの人々と接し、仲間と切磋琢磨しながら、多くの体験を通し、たくましく生きる力を育てたい。このため、子どもたちにより良い教育環境を与えたい。就いては、佐原第三中学校の小規模化を解消し、再統合の心配がない、佐原中学校への統合を要望する。統合の時期についても、できるだけ速やかに統合実施を要望する。

また、統合に伴い遠距離通学者へのスクールバスの運行、生徒のメンタルケア、その他保護者が心配していることなどについての対応を要望する。